

令和7年度 第4回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和7年8月27日（水）18：00～19：30

【場 所】 浜益コミュニティセンター ホール

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 石狩市火葬場の統合について
- 3) 火葬場に関するアンケート調査
- 4) 第10期地域協議会委員ふりかえり意見まとめ
- 5) 中央バスの廃止に伴う代替交通について

【出席者】 8名（14名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
委員	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美	○	委員	細田 幸男	○
委員	木村 武彦	○	委員	羽立 裕子	○	委員	鬼塚 建次	
委員	青山 侑太		委員	坂本 賢哉		委員	柿岡 奈々絵	○
委員	鳴海 翔	○	委員	笹森 仁美		委員	久慈 麻結	
委員	佐藤 晃一	○	委員	徳地 克実	○			

（本 庁） 上窪課長（環境課）

（支 所） 宇野支所長、木澤市民福祉課長（併 浜益学校教育課長、浜益社会教育課長）
高田保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、診療所庶務課長）

（事務局） 柿崎課長、佐藤主査、川村主査、小貫主査

【傍聴者】 0名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - ・火葬場の統合に係るアンケート調査の結果とパブリックコメント手続の開始について
- 4 協議事項
 - ・第10期総括・次期委員への引継ぎ事項の検討について
- 5 その他
 - ・中央バスの廃止に伴う代替交通について
 - ・その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

本日は、お忙しい中お集まり頂き、誠にありがとうございます。ただ今から、令和7年度第4回浜益区地域協議会を開会いたします。はじめに、会長からご挨拶申し上げます。

2 会長あいさつ

【渡邊会長】

— 会長あいさつ —

【事務局】

渡邊会長、ありがとうございました。本日の会議は出席委員が14名中9人と過半数に達していますので、成立していることをご報告いたします。それではこの後の進行を、渡邊会長よりお願いいたします。

3 報告事項

・火葬場の統合に係るアンケート調査の結果とパブリックコメント手続の開始について

【渡邊会長】

それでは、報告事項に入ります。報告事項 「火葬場の統合に係るアンケート調査の結果とパブリックコメント手続の開始について」説明をお願いします。

【上窪課長】

火葬場の統合に係るアンケート調査の結果とパブリックコメント手続の開始についてご報告いたします。7月7日から厚田区で5地区、7月11日から浜益区で7地区において意見交換会を実施しました。参加者は延べ134名の出席となりました。主な質疑内容ですが、「札幌市山口斎場を利用した方への補助制度について」「統合で生じる新たな負担への補助について」「廃止後の施設について」などの意見がありました。今後行われるパブリックコメントを踏まえた上でお答えしたいと思います。続いて7月25日から8月20日まで実施したアンケートについて、インターネットと紙の調査票の2つの方法で進めました。回答数については、浜益区ではインターネットが26件、紙の調査票が31件、合計57件の回答がありました。全体の総数は168件となっており、インターネットと紙が半々という割合になっています。結果については集計中ですので、今後、ご報告させていただきます。さらに9月1日から9月30日まで、パブリックコメントを実施いたします。報告は以上となります。

【渡邊会長】

以上説明がありましたが、何か質問等ございませんか。このアンケート回答数の居住地がその他となっているのは回答しなかったということでしょうか。

【上窪課長】

その他は花川地区ということです。そのほとんどが花川南地区の方です。ウェブは全市民対象のアンケートですが、浜益区と厚田区の火葬場を廃止するということで、回答されたのはほとんどが浜益区、厚田区という結果になりました。

【渡邊会長】

他に質問がなければ、協議事項に入ります。「第10期総括・次期委員への引継ぎ事項の検討について」事務局より説明をお願いします。

4 協議事項

・第10期総括・次期委員への引継ぎ事項の検討について

【事務局】

先日、第10期のふりかえりについて意見をいただきたく、書類をお送りしておりました。そこで4名の方からいただいたご意見を掲載し、別紙資料の通りまとめました。また、地域振興事業につきまして、鳴海委員より水産物普及プロジェクトについてお話いただいております。みなと祭りについては、来年度は今年と同様に実施し、再来年度実施分の中身から変更を検討したいとのことですので、ご報告いたします。

もし、ご意見など追加で何かございましたら、この場でお話いただきまして、私の方で前回お配りした第9期総括の資料と同様な形でまとめたいと思います。それを皆さんに郵送し、内容の最終確認をいただいた上で、9月末の任期満了時の協議会で確認ということとさせていただきたいと考えています。3月末の自治区廃止、今の形での地域協議会の終了に向けて、次の第11期では来年4月からの新しい組織の建付け、地域のありかた、まちづくりの進め方についてご議論いただきたいと考えておりますので、第11期に向けて、さまざまなご意見いただければと思います。以上、ご協議のほど、よろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

ただいま説明のありました事項について、意見や質問等ありますか。

【事務局】

確認ですが、地域協議会が条例化されて4月1日から始まる協議会は、委員の負担感を減らすという意味で開催の回数が少なくなる、人数が少数になるという認識でよろしいでしょうか。協議会の中で議論を深掘りするのではなく、例えば自治会であったり、いっぺかだれやの会の議論を吸い上げて、協議会の中で話し合われるというイメージですが、そういう進め方でよろしいでしょうか。いただいたご意見を見ますと協議会をもっと情熱を持ってという意見もありますが、事務局としては、協議会の人数は10人になり、負担も責任も軽減するという風に捉えていますけれどもよろしいでしょうか。

【渡邊会長】

開催回数については、年3回程度ということで認識しておりました。

【柿岡委員】

そういった承認機関であるということはいいと思いますが、実際に実行部隊の核となる組織がまだあやふやな段階で、承認機関である協議会だけあるというのはおかしい話だと思いました。

【事務局】

そう言ったテーマを、第11期の委員の皆様にも、半年間しかありませんが、人数も減りますし、どういう団体の人に協議会を担っていただくのか、協議会との中間に位置する団体なども含めて検討していただきたいと思います。

【宇野支所長】

協議会条例の中に、協議会の意見や要望を市に上げていくということはしっかり明記されています。協議会の役割としては、いっぺかだれやの会や団体からの意見をつなげるほかに、協議会委員自身の意見、聞いたこともしっかり委員さん同士の中で議論されるべきで、それが住民でやるべきこと、行政がやるべきことなのか、などの審議をしそれを行政につないでいく、または議論を団体にフィードバックしていき意見交換を深くしていくなど、その両輪でやっていくということではないでしょうか。

【事務局】

年3回ほどの協議会となることで、今まで以上に協議事項、審議事項の情報を事前にお伝えするということが必要となると考えています。今回いただいた意見の中に、「市からの説明は決定事項」という意見がありましたが、協議資料を当日お配りして、今日決めてください、ということとはしてはならないと考えています。今まで以上に、協議する案件の資料は早めに提供してもらう、資料の当日配布は軽微のものを除いてやめるなど、これまでと同じ形にならないように本庁とも協議する必要があると感じています。

【渡邊会長】

3回というのはあくまで目安であって、必要に応じて増やすということもありますよね。委員自らが自分の所属団体や住民から聞いた話を議論するということも考えられますね。地域協議会だけでなく、実働部隊の組織がしっかり活動できるようになっていく、そういう議論も必要だと思います。

【事務局】

浜益支所ではこれまでけん引役というか、人づくりをあまりしてこなかったこともあり、委員のなり手もあまりいない状況にあり、反省しています。人材育成のために講師を呼ぶなどするほか、それぞれ住民の話を聞く機会ですとか、併せて本庁の組織との接点も切り替えるために、本庁とも一緒にしくみづくりを考えていかなければいけないと思っています。今回の中央バス廃止の議論についても、本庁の方では、交通のことではなく、過去からことや、地域のまちづくりをどうするんだというような話が出てきたそうです。厚田浜益は、協議会という議論の場があるからいいけれど、そういうのがない地区はどうしたらいいんだという話もあったそうです。交通担当としても、全部受け止めることができず市としてどうやってやればよいのだろうと考えているところで、厚田支所浜益支所も含めてですが、経済活動が活発ではない農村部などでもまちづくりをどうしていくか議論する部署がないので、という話はしています。来年は市の総合計画の見直しの時期なので、全市的にまちづくり、人づくりについて強く考えていく必要があると思っています。協議会だけが変わっていくのではなくて、全体的に人づくりのようなソフト事業のようなものはやっていく必要があると思います。昨年からはじめたはいっぺかだれやの会を実施していますが、方向性を定めなくてやっていく新しいチャレンジで継続していて、メンバーも固定化しているところもありますが、みんなで参加し話し合う場を大事にしたいという思いでやってきています。課題は複層的でどこの担当ということもないですし、私たち行政の方がもっと参加して、頑張っていかなければならないと思っています。

【柿岡委員】

浜益区、厚田区には地域協議会がありますが、花川など他の地区ではどのように議論の場を持っているのが知りたいです。ほかの地区がどのようにしているのか知ること大事だと思います。

【木村委員】

勉強会もやって、自由な意見を出せるようになったし、これからもいっぺかだれやの会や、いろんな組織で話し合ったことを新しい協議会を出して議論し、協議会委員の意見も協議してもらえればと思います。また、協議会委員が所属する組織の代表の人たちにも来ていただいて、勉強会や検討会をしたり、問題提起、課題提起の会議を持ってもいいのではないのでしょうか。定例の会議は3回だけですが、協議会の委員が中心となり、さまざまな集まりの場を持ってもらって、また協議内容によっては他の形で何回もできればと思います。

【事務局】

まだどのように進めるか細かく決まっていますが、先日、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）に地域運営の在り方や、行政から言われるけどできないことや、その他地域にあるさまざまなことを取捨選択する議論の場の講師を打診したところ、お引き受けいただけるということで、日帰りであれば無料で講師もしていただけると聞きました。アドバイスをいただいて、議論を深められたらいいなと考えています。もしかしたら今年度からお願いできるかもしれません。大きな集まりがあればと考えており、自治懇話会などでもよいかと考えています。木村委員が仰ったように、地域協議会の集まりでもお話を聞くということもできると思います。いっぺかだれやの会のこともお話ししたら、住民が対話をする、という場については進んでいる印象を受けるが、行政側の意識共有の部分を進めていって、というお話もいただきました。道内の他の地区でも地域運営組織の立ち上げにかかわっている組織で、そういった事例も聞くことができますので、来てもらえたらと思います。厚田やそのほかの農村地域にも声をかけてやっていけたらとは考えています。地域がやりたいことに伴走していただけるようなことをお願いしたいと思っています。

【徳地委員】

新しい組織については、今までのような何をやっているかわからない組織は不要だと思っています。必要なのは、例えば、浜益わかもん会では会長の自分を抜きにして、事業計画書を作り企画を上げようとしているのですが、そういう企画を実行するためにお金を含め行政を巻き込むような議論をする場があったらいいなと思います。地域の団体の活動を行政に橋渡しする組織が必要だと思っています。また、今は委員皆さんの中で、将来のまちづくりに関するイメージがわいていないと思います。まずはそういうことをしっかりと話し合う場を作った方がいいと思います。個々に頭の中で考えているだけでは前に進まないの、浜益のこれからのまちづくりをするための組織図や、ビジョンをこうしようというものから始めないと議論できないのではないのでしょうか。

【事務局】

地域の人がやりたいことに行政は伴走して一緒に取り組んでいくという動きにしていかななくてはならないと思っています。自治基本条例にあるように、地域住民が主体的に取り組む意思を大切にしなければなりませんし、伴走しなくてはならないと思っていますが、なかなかそれができていません。

【柿岡委員】

浜益区民の皆さんはこのままではいけないという危機感を持っていても、思考停止してしまっている状態だと思います。その先の明確なビジョンをこうしていこうという話し合いになかなか到達していません。行政だけでなく、住民側も具体的なこの先を考える意識づくりが必要です。

【徳地委員】

では、11期の最初に、新しい組織の構成がどうなるかわからないけど、その組織に向けてイメージを共有するためだけの場を設けた方がいいと思います。勉強会も含めて会議もやって、話し合っ、足りないことがあったら勉強会をやって、もう一回やって、次のイメージをみんなで共有するくらいのことをやった方がいいと思います。

【柿岡委員】

行政の方は、住民の意見が上がってくるのを待っているイメージがあります。意見を出せる土壌が出来上がっていないので、いきなり意見をというのは難しいと思います。今できるとしたら、住民側は現状を認識して具体的に考える努力が必要だし、行政側は、考えるための材料を出す必要があると思います。そういう動きをして行ってほしい。どちらにも具体的に話し合う、向き合うまで行っていないイメージです。どちらが悪いということではないですが、行政側は行政主導にならないようにとビジョンを積極的に出すのをためらっている部分があるように感じます。また、住民側は行政に依存していて、言っておけばやってもらえると思っています。お互いに真剣に未来を考えるという空気に持っていかなければと強く感じています。行政側から提案があれば、住民側もきちんと提案できるようになればいいと思います。

【事務局】

瀧さんが協力隊だった時に住民を集めてフォーラムを実施した以降、住民を集めて意見を聞こうと

いう場がなかったのを、去年いっぺかだれやの会ができたというのを大事にしたいと思っています。その中からか、それ以外からでも、課題感というか軸になるものを話していく必要があると思います。そこにはコーディネーター的な方がいる形で進めていけたらと思っています。

道総研からも行政から先にアイデアを出すと持続性がないので気をつけてと言われていています。いかに住民が取捨選択していくのか、という進め方がいいです、とアドバイスされています。

【徳地委員】

やはり、11 期の最初はまずはイメージの共有をしたらいいと思います。第 10 期の引継ぎの中にも、まずは新しい組織についてのイメージを共有してから議論を進めてくださいという文言を入れたらよいと思います。課題を話し合うための場づくりの体制をどうするのかという部分もあやふやなままで、決まってもいないのに、承認機関で終わらせたくないという話になると議論が止まってしまうからそこを決めないといけないと思います。

【事務局】

事務局からは今までの協議会を構成して来た団体の一覧などは提示することができますので、委員の皆さんにも、こういう人がいいどういう視点が必要だ、というイメージを持って、一から話していただけたらと思います。

【渡邊会長】

それでは第 10 期については、事前の意見と、今日の議論をまとめてもらって、次回の協議会の前に一度皆さんに書面で示してもらい、何かあれば追加変更し、再度まとめて 9 月末の最後の協議会で最終的に確定ということで進めてもらえればと思います。何か追加することがあれば随時事務局に伝えて肉付けしていけたらと思います。

ほかになれば、次に、「その他」です。まず事務局からお願いします。

5 その他

・中央バスの廃止に伴う代替交通について

【事務局】

お手元にチラシをお配りしております。前回、交通担当より、石狩以北の代替交通についてお伝えしておりましたが、地域説明会にご意見を踏まえ、変更がございました。ほかの地区でも、乗換の回数が多いというご意見が多数あったようで、以前にご説明していた、八幡での乗り換えをしなくて済むように調整しまして、厚田から花川へは乗り継ぎなしの 1 本で行けるようになったとのことです。こちらのチラシを今月末に回覧し、周知するとのことでしたのでご報告します。

【渡邊会長】

以上報告がありましたが、何か質問等ございませんか。

【木澤課長】

広報に折り込みチラシを入れていますが、10 月から浜厚線の予約方法が変更になります。また、スクールバスの混乗事業についても 17 時台の混乗を廃止します。こちらチラシを全戸配布いたします。

【木村委員】

中央バスが撤退して交通手段にいろいろ変更があるが、使い勝手がよくなったという風に、柔軟に対応して欲しいと思います。

【木澤課長】

基本的には通学、通勤、通院などの足をそのまま確保できるようにしています。運用して問題があれば修正していくという形で実施していく予定です。

【柿岡委員】

前から提案していますが、バスにラッピング広告をして方がいいと思います。広報とか回覧を見ない人は多いですが、走っているバスを見る人は多いので、それを見て住民同士で話し合うきっかけにもなると思います。マグネットで車両の側面に貼り付ける形でもよいと思います。

【渡邊会長】

それはぜひ、検討しましょう。他にはございませんか。

・夏休み浜益こどもの居場所（わらしゃんど・カダレーヤ）について

【高田課長】

夏休み期間に浜益コミセンで実施したこどもの居場所について報告します。子どもの規則正しい生活を提供することと、保護者の就労支援を目的として実施しました。31 名の申し込みがあり、アンケート結果からも概ね好評を得ました。今後も続けて実施できるよう検討していく予定です。詳細が

決まりましたら、またご報告いたします。

・川下の新築アパートについて

【渡辺委員】

川下に新築アパートについて入居者募集中です。11月下旬より入居可能です。アットホームというサイトでネット検索すると詳細がわかりますので、よろしくお願いいたします。

【渡辺会長】

他にはございませんか。それでは最後に次回の開催日程について、事務局からお願いします。

6 次回の開催日程について

【渡辺会長】

それでは最後に次回の開催日程について、事務局からお願いします。

【事務局】

次回の地域協議会は9月下旬を目途として開催したく存じます。協議内容としましては、総括、引継ぎ事項の確定をお願いしたいと考えております。協議会の日程調整につきましては、改めてご連絡をいたしますので、よろしくお願いいたします。

7 閉 会

【渡辺会長】

それでは、以上を持ちまして第4回地域協議会を閉会いたします。長時間、お疲れ様でした。

令和7年11月4日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡辺 隆之